

節電したらいいことありました



涼しいのんびりできて最高です！

図書館を利用する 大澤洋文さん

図書館へは休みの日によく来ますね。仕事の調べものであったり、ゆっくり本を読むことができますから。しかも外は暑いのに、館内はエアコンが効いていてとても快適。過ごしやすいです。節電が叫ばれていますが、こういった公共施設を大勢の人が利用するだけでも節電になるんでしょうね。家の電気代も掛からないし一石二鳥です。



御前崎を満喫しながら節電

親子で海水浴を楽しむ 下村裕美さん

夏になり子どもは海水浴に夢中です。毎日のように海へ遊びに行くと張り切っています。御前崎の夏は最高ですね。子どもは夏の海を楽しみ、私自身も気分転換できます。昔から御前崎の夏の過ごし方は、海とともにあるんでしょうね。これも御前崎ならではの節電ですかね。



家族の会話がさらに増えました

家族の絆を育む 岩下 聡さんご家族

「夏はエアコンを使いますよね。わが家では、家族全員が1つの部屋に集まるようにしています。エアコン代も少なくてすむ上に、今まで以上に家族の会話、笑顔が増えた感じがします。節電が、家族の絆を深めました」と妻の亜衣子さん。



節電量が見えるとやりがいがある

家で節電に取り組む 片瀬愛子さん

廊下の電球をLEDに変えたり、必要ない電気は消すようにしています。使用していない電化製品のコンセントも抜くようにしました。はじめは節電にチャレンジしてみようかな程度だったんです。検針票を見たら、昨年同月よりも電力使用量が少なくなっていて節電が楽しくなりました。今後も楽しみながら節電に取り組んでみようと思います。



まちを車で走れば緑のカーテンやすだれが目につきます。ある企業の玄関にも節電中と書かれた貼り紙がしてありました。今、日本中の人が節電に取り組んでいます。静岡県地球温暖化防止活動推進センターの服部乃利子事務局長が言うように、節電に「我慢や無理」は禁物。できる範囲で、自分たちの家庭の状況に応じた節電をすることが大切です。無理に節電して体調を崩したらもともともありません。今回編集を進めていく中で、節電はプラス要因ばかり生み出すことに気が付きました。電気代の削減、地球温暖化防止をはじめ、まちの魅力再発見や家族の絆を深めることにもつながっています。節電を「つらいとか面倒くさい」と考えず、まず何か一つ取り組んでみませんか。小さな取り組みが大きな力になります。そしてそれに付随して必ず良いことがあるはず。さあ、節電を楽しみましょう。

特集 節電 終